

Working Voice ワーキングヴォイス

NO. 1

2009年3月15日発行



国内景気の悪化が急速に進む中で、雇用環境、労働市場は厳しさを増しています。

愛媛県では、この様な状況に対応するために新たな雇用創出事業に取り組んでいます。

その一環として愛媛労働福祉協議会は県からの委託事業により、県の広報誌である愛媛労働の発行に併せて情報誌「ワーキングヴォイス」を作成、発行することとなりました。共に働く皆さんが、抱える悩みやその解決事例など「働く仲間の声」を広く発信したいと考えています。私達をとりまく環境は厳しいものですが、読みやすい紙面構成で仕事と暮らしに希望をもてるような情報発信をしていきます。



第1号では、日本労働組合総連合会愛媛県連合会を取材し杉本宗之事務局長さんに、現在の雇用情勢についてコメントを頂きましたので、掲載させていただきます。

連合愛媛 杉本事務局長に聞く

1. 県内の雇用情勢は…

非常に厳しいと判断しています。特に年度末の3月末（決算月）、あるいは株主総会開催月の6月頃までは何が起こるか予断を許しません。

県内の昨年の企業倒産は144件、3年連続で増加しています。昨年8月には今治地区での大型百貨店の企業撤退が発表され、秋以降の米国の金融危機に端を発する世界同時不況の影響による自動車・電機などの「輸出関連産業」の急激な生産減による、いわゆる「派遣切り」や「雇い止め」が後を絶たない状況です。そのような事情で職を失った労働者の数は1件当たり100人単位に上り、今年に入ってからその流れに歯止めがかかるどころか、いわゆる「2009年問題」逃れとも疑いたくなるような便乗行為も見受けられます。

加えて、県内大手建設会社の民事再生法申請や、05年に県と市が雇用促進のため誘致したデータ入力業者の賃金不払いや解雇問題が発覚し、120人を超える雇用が失われようとしています。更に深刻なことにこの会社は2月も中旬を過ぎたこの時期に高校新卒者の内定取り消しを行い、その数も1社で32名という全国的にもあまり例のない酷い状況を作り出しました。

昨年秋以降の急激な経済環境悪化は、1年前にはなかなか予想できなかったもので、県内でも中・南予に比べ有効求人倍率など相対的には良好だった東予地域が、「輸出関連」「周辺」という業種に関連し、一気に大きな影響を受け、県全体の経済を押し下げたようです。さらに今次不況の特徴として「連鎖（波及）のスピードがあまりに早かったこと、と言うよりまさに『同時』進行した」ということが挙げられます。

いずれにしても冒頭で述べたように、この数カ月のうちにどんなことがあるか全く予断を許さない状況ではないでしょうか。

2. 国や自治体はどのような政策・取り組みが必要か？

(1) 雇用のセーフティネットの拡充が急務

前述しましたように雇用情勢は、今後一層の深刻化が懸念されます。企業の雇用維持努力への支援に加え、失業給付等の拡充を中心に、雇用のセーフティネットに万全を期すべきです。例えば下記のような取組が必要です。

- ① 雇用調整助成金のさらなる要件緩和と助成率拡大、制度の活用に向けた周知や申請手続きの簡素化
- ② 失業給付の支給要件緩和と雇用保険制度の適用者拡大の早期実施
- ③ 安定した就労への移行のための公共職業訓練メニューの拡大（社会・企業のニーズに即した訓練科目の多様化や、訓練期間の長期化による高度な訓練の充実など）
- ④ 雇用促進住宅の最大限確保に加え、国や地方公共団体が民間アパート等を借り上げ、離職者に迅速かつ低負担で提供する仕組みの検討

(2) 新たな雇用の創出が不可欠

わが国の将来的な経済成長と生産性向上につながる分野に対して、集中的に政府支出の大幅拡大を行うことを基本として、新たな需要や雇用の創出を積極的に行っていくことが不可欠です。とくに介護・保育、農業分野における雇用創出は、国民生活の安心や地域経済の活力維持にとって重要だと思えます。例えば下記のような取組が必要です。

- ① 競争力強化につながるインフラ整備等（物流・交通ネットワークの整備、公共施設の耐震化・エコ化、農地基盤整備、育林のための雇用支援）
- ② 研究開発・情報通信基盤の強化（国・地方を通じた電子行政基盤整備、高度IT人材育成拠点大学の拡充、電気自動車の開発促進とインフラ整備、政府研究開発投資の大幅拡充と「革新的技術戦略」の加速的推進）
- ③ 国民生活の安心確保に向けた基盤整備（高齢者向けの多様な居宅・介護施設の整備、保育所など子育て支援サービスの拡充、介護・保育分野の有資格者の復職支援、資格の取得支援、保育従事者拡充に向けた資格要件等の緩和）





主婦の声



今回の労働者の声は、愛媛県労働者福祉協議会が実施している家計調査でのモニターさんのメッセージから「声」を拾集しました。

今回は、働いている人達の家計を担っている主婦の声が多いですが、その声をもてみると、「仕事」と「暮らし」の関係性がよくわかります。

私達労働者ひとりひとりが家族を持っており、その家族を養うために懸命にやりくりしている姿がよく見えるのではないのでしょうか？

子供との時間を大切にしたい

フルタイムで働いていましたが、今しかない子供との時間を大切にしたいと思い、パートに転職しました。節約に心がけていますが、毎月の赤字から抜け出せず、貯金が減る一方で……。節約しているつもりでも、できていないんだらうと……。客観的に見てみようと思いました。1年たつ頃には、黒字になっていればいいな、と思っています。

(31歳)



家計簿モニターに登録「買い物は週1回」

初めて家計簿モニターに登録しました。以前から家計簿はつけていましたが、みなさんの平均値を見ると更にやる気が出るかなあ…と思い登録してみました。

今月は年末年始の帰省などの出費に加え、車検、子どものベネッセの年間購読料などでかなりの出費でした。来月はひきしめていかないと…と思う今日この頃です。買い物へ行くと、つい買ってしまい食費が増えるので1週間のメニューを決め、“買い物は週1回”というように決めています。つつい足らなくなって買い物へ行ってしまうので、そこを徹底していきたいと思っています。

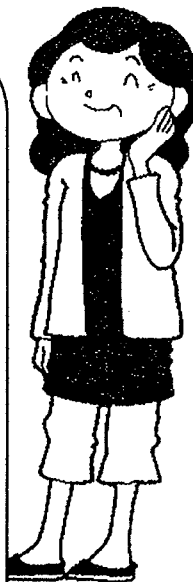
(31歳)

予算の見直しをしてみました

新しい年が1ヶ月過ぎました。一年の、1ヶ月の予算をたてていましたので比べてみました。

予算オーバーは、水・光熱費、保健医療費、交際費でした。水・光熱費は一年で一番使う月なので交際費はお年玉・年賀・帰省費用とあったので仕方ないかと、保健医療費は主人が一人で17,000円もびっくりでした。でも、食費が予算内で、1万余りも残り、にっこり！です。よって、2月一日、長男一家(5人)招待して、ふぐち鍋を頂くことに決定！(実は、私の風邪引きで、買い物ままならず粗食だったからなのですが…)

(61歳)



費目別に予算を決めてみました

今年は去年の費目別の平均金額をだして、費目別の予算を決めてみました。

うまく節約できればいいのですが…。

(39歳)

家族みんな
元気が一番

昨年は出産後、家計簿をつけるのがおろそかになってしまいました。昨年は主人のお給料カット、ガソリン代自己負担、そして三人目出産と大変でした。今年も益々厳しい一年となりそうで、不安ですが、主人も元気に仕事してくれていますし、子どもたちも風邪をひくこともなく病院代がいらぬことをとても幸せに感じます。(37歳)

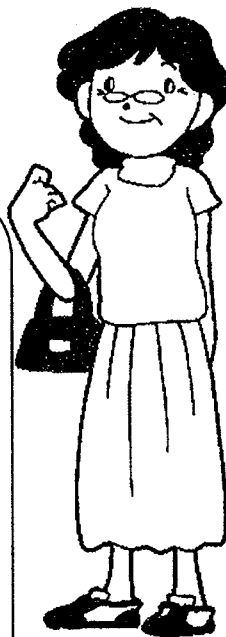


この時期に
必要な出費

エアコンのクリーニング代、インフルエンザ予防接種など 今の時期に必要な出費がわりとあって今月もきつかったです。これからは風邪の季節。子供が三人いると日替わりで1人ずつ受診に連れていったりすることも…。まだ医療費が無料なので助かっていますが、これが有料となると医療費もかなりかさむと思います。(38歳)

家計が苦し中
工夫しています

主人は下請けの仕事をしているのですが、仕事着は自分で買わなくてはけません。出張で中国地方に行った時に安いワークショップでたくさんまとめて買ってきます。今月も上下の仕事着、手袋などまとめて買いをしました。安いとはいえ、いたい出費です。でもそれがないと仕事はできないし、しかたないですね。(50歳)



急な出費で
さあ大変!

突然に朝、テレビが見えなくなりました。ブースターがこわれたとか、アンテナが一本折れているとか、居間・寝室ともに2台とも写らなくなったのです。地デジ開始には、まだ三年あるからと安心(?)していたのに朝ドラも見れません。夜には、「魔王」の最終回があるというのに、この際、仕方ないか、地デジ対応テレビにするか、こわれたままで放っている。ビデオもDVDビデオにするか、アンテナもとすごい金額になってしまいびっくり。年金生活での突然の大金の出費に心なしかあたふたの月でした。(61歳)



ワーキングヴォイスでは、読者の方からの労働時間や働き方についての感想をお待ちしています。次号のワーキングヴォイスで紹介させていただきます。

愛媛県委託事業 (平成20年度労働者の声発信事業)

発行 社団法人 愛媛県労働者福祉協議会

〒790-0066 松山市宮田町125番地 愛媛県労福協会館 3階

TEL 089-946-2296 FAX 089-947-5616

メールアドレス e-roufuku@leo.e-catv.ne.jp